

平成30年度 編入学者選抜募集要項

〔 編 入 学 案 内 〕
出 願 書 類 添 付

主 要 日 程	
出 願 期 間	平成29年8月2日（水）～4日（金）
検 査 期 日	平成29年9月5日（火）
合 格 発 表 日	平成29年9月8日（金）
入学確約書提出期限	平成29年10月20日（金）



独立行政法人国立高等専門学校機構

福島工業高等専門学校

〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾30

TEL 0246-46-0721（学生課入試係）

FAX 0246-46-0742（学 生 課）

URL <http://www.fukushima-nct.ac.jp/>

目 次

平成30年度編入学者選抜募集要項

1	本校の入学受入方針（アドミッション・ポリシー）	1
2	各学科が期待する入学像	1
3	募集人員および編入学年次	2
4	願書受付	2
5	検査期日等	2
6	合格者発表	2
7	「入学確約書」の提出	2
8	出願資格等	3
9	その他	8
10	検定料振り込みについての注意	9

編入学案内

1	高等専門学校並びに本校の特色	10
2	本校の教育理念	10
3	本校の学習・教育目標	10
4	養成する人材像	11
5	卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力	11
6	学科紹介	12
7	修業年限	13
8	教育課程	13
9	学生生活	20
10	学校行事	20
11	学費等	20
12	奨学金制度	21
13	入学料および授業料免除制度	21
14	学生寮	22
15	卒業生の進路	22

出願書類

編入学者選抜願書・写真票・受検票・推薦書・検定料納入書	1部
-----------------------------	----

平成30年度 編入学者選抜募集要項

※ 本校は、平成28年度にコミュニケーション情報学科を、平成29年度には工学系4学科の学科改組を行い、下記のように学科名称が変更されました。

なお、新学科には平成29年度入学の1年生から、学年進行によって随時適用となります。平成30年度編入学生については、改組前の旧学科への入学となります。

【旧学科名称】	【新学科名称】
機 械 工 学 科	機 械 シ ス テ ム 工 学 科
電 気 工 学 科	電 気 電 子 シ ス テ ム 工 学 科
物 質 工 学 科	化 学 ・ バ イ オ 工 学 科
建 設 環 境 工 学 科	都 市 シ ス テ ム 工 学 科
コミュニケーション情報学科	ビジネスコミュニケーション学科

1 本校の入学受入方針（アドミッション・ポリシー）

福島高専では、次のような人の入学を期待しています。

- (1) 創造的な「モノづくり」に強い興味を持っている人
- (2) 基礎的学習内容を十分に理解し、自ら学ぼうとする人
- (3) 自ら目標を立て、達成に向けて粘り強く努力する人
- (4) あらゆる物事に興味を持ち、深く探求する人
- (5) しっかりしたモラルを持ち、まわりの人たちを尊重する人

2 各学科が期待する入学者像

機 械 工 学 科

- (1) ロボットや自動車などの機械のモノづくりに強い興味を持っている人
- (2) 機械の仕組みや関連する技術について深く勉強したい人
- (3) 人のために役立つ環境に優しい技術に関心のある人

電 気 工 学 科

- (1) 電気・電子に関する実験や製作に協調性をもって取り組める人
- (2) 創意工夫して電子回路やコンピュータプログラムを作り、動かしてみたい人
- (3) 電力、通信、ITなど社会基盤を作る技術者になりたい人

物 質 工 学 科

- (1) 物質を分子・原子レベルで自在に操る技術者になりたい人
- (2) 新素材やバイオテクノロジーに強い興味を持っている人
- (3) 化学の知識・技術を応用して環境問題解決に貢献したい人

建設環境工学科

- (1) 道路・橋・港・ライフライン等の建設技術に興味を持っている人
- (2) 自然環境と調和したまちづくりを大切にしていきたいと考えている人
- (3) 建設技術を通じて地域社会の発展に貢献したい人

コミュニケーション情報学科

- (1) 社会・経済のしくみや動きに広く関心のある人
- (2) 外国語能力を高めて、国際的に活躍したい人
- (3) 情報技術を身につけて、産業社会に貢献したい人

3 募集人員および編入学年次

学 科	募 集 人 員	編入学年次
機 械 工 学 科	各 若 干 名	第 4 学 年
電 気 工 学 科		
物 質 工 学 科		
建 設 環 境 工 学 科		
コミュニケーション 情 報 学 科		

4 願 書 受 付

(1) 受付期間 平成29年8月2日（水）～ 4日（金）
（郵送の場合は**8月4日（金）16時**必着とします。）

(2) 受付時間 9時～16時

(3) 受付場所 福島工業高等専門学校 学生課入試係
〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾30
TEL 0246-46-0721

5 検査期日等

(1) 検査期日 平成29年9月5日（火）

(2) 検査会場 **福島工業高等専門学校**

6 合格者発表

(1) 日 時 平成29年9月8日（金）

(2) 方 法 合格者の受検番号を本校に掲示します。なお、合格者本人および出身（在籍）学校長には、合格者名等を文書で通知します。
また、本校ホームページにも掲載します。（電話による問い合わせはご遠慮ください。）

7 「入学確約書」の提出

合格者の入学意思確認等のため、「入学確約書」を下記期日までに提出してください。
平成29年10月20日（金）

8 出願資格等

平成30年度編入学者選抜から、各学科毎に試験実施内容・出願資格が異なります。
つきましては、志望学科の各項目をよく確認して出願をしてください。

8.1 出願資格

【機械工学科】

次の（１）～（３）に該当し、在籍高等学校長が人物・学力ともに優秀であると認めて推薦する者で、合格後、入学を確約できる者としてします。

- （１）高等学校、中等教育学校の専門教育を主とする学科を平成30年３月卒業見込みの者
- （２）以下の条件を全て満たす者
 - ① 第１学年から第３学年第１学期までの全科目の評定平均が５段階評価で4.5以上である者
 - ② 学科（クラス）内席次が上位10%以内である者
 - ③ 第２学年および第３学年第１学期において、各科目の評定に１または２がない者
- （３）高等学校の機械科、電子機械科、機械システム科およびこれに準ずる学科に在籍の者

【電気工学科】

次の（１）と（２）に該当し、在籍高等学校長が人物・学力ともに優秀であると認めて推薦する者で、合格後、入学を確約できる者としてします。
また、高等学校の所属学科は問いません。

- （１）高等学校、中等教育学校を平成30年３月卒業見込みの者
- （２）以下の条件を全て満たす者
 - ① 第１学年から第３学年第１学期までの全科目の評定平均が５段階評価で4.5以上である者
 - ② 学科（クラス）内席次が上位10%以内である者
 - ③ 第２学年および第３学年第１学期において、各科目の評定に１または２がない者

【物質工学科・建設環境工学科】

次の（１）～（３）のいずれかに該当する者としてします。なお、（１）に該当する者は第２学年および第３学年第１学期において、各科目の評定に１または２がない者としてします。
また、高等学校の所属学科は問いません。

- （１）高等学校、中等教育学校を卒業した者または平成30年３月卒業見込みの者
- （２）高等学校卒業程度認定試験に合格した者
- （３）外国において学校教育における12年の課程を修了した者

【コミュニケーション情報学科】

次の（１）～（３）のいずれかに該当し、かつ（４）の条件を満たす者としてします。
なお、（１）に該当する者は第２学年および第３学年第１学期において、各科目の評定に１または２がない者としてします。
また、高等学校の所属学科は問いません。

- （１）高等学校、中等教育学校を卒業した者または平成30年３月卒業見込みの者
- （２）高等学校卒業程度認定試験に合格した者
- （３）外国において学校教育における12年の課程を修了した者
- （４）ア.日商簿記２級以上、イ.英検２級以上、ウ.基本情報技術者試験以上（ITパスポート試験は不可）ア～ウのうちいずれかの資格を所持している者

8.2 出願書類等【全学科共通】

(1) 出願書類等

志願者は、次の書類のうち、「(2) 学科別提出必要書類」に定める必要な書類等を取りまとめて提出してください。提出の際、機械工学科と電気工学科に出願する受検生は在籍学校長を経て提出してください。

なお、書類を郵送する場合は、封筒の表に「**編入学者選抜願書在中**」と記載し、書留郵便としてください。

① 編入学者選抜願書	本校所定の用紙に志願者が必要事項を記入したもの。
② 受 検 票	本校所定の用紙に志願者が必要事項を記入したもの。
③ 検 定 料 納 入 書 (16,500 円)	本校所定の「検定料納入書」に必要事項を記入の上、金融機関から振り込み、「検定料納入書」(高専提出用)を出願書類に同封してください。 なお、A T M (現金自動預払機)、携帯電話およびパソコン等からの振り込みはできませんので、ご注意ください(郵便局およびゆうちょ銀行から振り込む場合は9頁「検定料振り込みについての注意」をご覧ください)。また、既納の検定料は以下の場合以外、いかなる理由があっても返還しません。 ・検定料を納付したが出願しなかった場合 ・検定料を誤って二重に払い込んだ場合
④ 写 真 票	本校所定の用紙に3ヶ月以内に撮影した上半身、正面脱帽の写真(4.5cm×3.5cm)を貼付し、所定の事項を記入したもの
⑤ 返 信 用 封 筒 (受検票送付用)	志願者の住所・氏名を記入し、82円切手を貼付したもの。 (出願書類を持参する場合は不要です。)
⑥ 調 査 書	出身(在籍)学校所定の用紙に出身(在籍)学校長が記載したもの。
⑦ 卒業証明書または 卒業見込証明書	出身(在籍)学校所定の用紙に出身(在籍)学校長が記載したもの。
⑧ 高 等 学 校 卒 業 程 度 認 定 試 験 合 格 証 明 書 お よ び 合 格 成 績 証 明 書	文部科学大臣が証明したもの。
⑨ 推 薦 書 (機械工学科・電気 工学科出願者は必 要)	本校所定の用紙に在籍学校長が記載したもの。
⑩ 資格に関する証明 書等 (コミュニケーション 情報学科出願者は 必要)	ア. 日商簿記2級以上、イ. 英検2級以上、ウ. 基本情報技術者試験以上(ITパスポート試験は不可)の資格の原本及び写しを提出してください。原本は確認後返却します。

(2) 学科別提出必要書類

【機械工学科・電気工学科】（注）在籍学校長を経て提出してください。

出 願 資 格	提 出 書 類
① 高等学校卒業見込者	(1)の「出願書類等」の ①～⑦, ⑨

【物質工学科・建設環境工学科】

出 願 資 格	提 出 書 類
① 高等学校卒業または卒業見込者	(1)の「出願書類等」の ①～⑦
② 高等学校卒業程度認定試験合格者	〃 ①～⑤, ⑧
③ 外国で12年の課程修了者	〃 ①～⑤, ⑦

【コミュニケーション情報学科】

出 願 資 格	提 出 書 類
① 高等学校卒業または卒業見込者	(1)の「出願書類等」の ①～⑦, ⑩
② 高等学校卒業程度認定試験合格者	〃 ①～⑤, ⑧, ⑩
③ 外国で12年の課程修了者	〃 ①～⑤, ⑦, ⑩

8.3 検査の内容、時間および出題範囲等

(1) 検査等の内容および時間

志望学科により、検査内容および検査等の時間が異なります。

詳しくは下記を参照してください。

【機械工学科】

◎検査内容と開始時間：①面接（口頭試問を含む）
（一人20分程度） 9：00～

【電気工学科】

◎検査内容と開始時間：①筆記試験（専門科目） 9：00～9：50
②面接（一人20分程度） 10：10～

◎筆記試験の詳細内容

科目名	出題範囲		
専門科目 (電気理論)	① 電気数学 ④ 電磁誘導	② 直流回路 ⑤ 静電気	③ 電流と磁気 ⑥ 交流回路

【物質工学科】

◎検査内容と開始時間：①筆記試験（英語） 9：00～10：10
②筆記試験（数学） 10：30～12：00
③筆記試験（専門科目） 13：00～14：30
④面接（一人10分程度） 14：50～

◎筆記試験の詳細内容

科目名	出題範囲	
英語	コミュニケーション英語Ⅰ コミュニケーション英語Ⅱ	全範囲
数 学	数 学 Ⅰ	全範囲
	数 学 A	
	数 学 Ⅱ	
	数 学 B	数列・ベクトル
専門科目 (化学基礎・化学)	化学基礎・化学の全範囲	

【建設環境工学科】

◎検査内容と開始時間：①筆記試験（英語） 9：00～10：10
②筆記試験（数学） 10：30～12：00
③筆記試験（専門科目） 13：00～14：30
④面接（一人10分程度） 14：50～

◎筆記試験の詳細内容

科目名	出題範囲	
英語	コミュニケーション英語Ⅰ コミュニケーション英語Ⅱ	全範囲
数 学	数 学 Ⅰ	全範囲
	数 学 A	
	数 学 Ⅱ	
	数 学 B	数列・ベクトル
専門科目 (構造力学)	① 力のつりあい ② 部材断面の性質 ③ 静定ばり（反力，内力，影響線，曲げ応力） ④ 柱 ⑤ トラス	

【コミュニケーション情報学科】

◎検査内容と開始時間：①筆記試験（専門科目） 9：00～10：30

②面接（口頭試問を含む）
（一人30分程度） 10：50～

◎筆記試験の詳細内容

科 目 名	出 題 範 囲
専門科目（小論文）	社会に関するテーマ (1,200字以上1,600字以内)

8.4 選抜の方法

入学者の選抜は、筆記試験や面接の結果、出身（在籍）学校長から提出された調査書の内容等を総合して行います。

8.5 注意事項

（1）出願上の注意

- ① 出願書類受理後は、記載事項の変更はできませんのでご注意ください。
また、出願書類は返還しませんのでご注意ください。
- ② 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後においても入学許可を取り消すことがあります。

（2）受検上の注意

- ① 検査当日は受検票、筆記用具を持参してください。
- ② 受検のため宿泊を必要とする場合は、各自で準備してください。
- ③ 「受検者心得」は受検票の裏面に記載していますのでご覧ください。

（3）「推薦書」記入上の注意（機械工学科・電気工学科出願の場合）

「推薦書」における「学科（クラス）内席次」の欄には、志願者が所属する学科（クラス）全体の人数と志願者の第3学年第1学期の席次を記入してください。なお、2学期制の高等学校においては、第2学年末の席次を記入してください。

9 そ の 他

- (1) 入学後、本校学生寮への入寮を希望する場合は、選考のうえ許可されることがあります。
- (2) 出願書類を郵便により請求する場合は、住所・氏名を明記し、1部につき205円の切手を同封してください。
- (3) 入学願書および調査書等に記載されている個人情報の利用について
入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報および選抜に用いた試験成績・評価などの入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的以外には利用することはありません。
- ① 入学後の教育・指導
 - ② 入学料、授業料の免除申請の審査
 - ③ 奨学金申請の審査
 - ④ 本校および国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査研究
- (4) 出願書類の請求および編入学に関する問い合わせ、過去の出題問題の請求については、下記にご連絡ください。

福島工業高等専門学校 学生課入試係
〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾30
TEL 0246-46-0721
FAX 0246-46-0742

10 検定料振り込みについての注意

検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合は次のような条件がありますので、ご利用の際はご注意ください。

- (1) ゆうちょ銀行から検定料を振り込む場合は現金での振り込みはできず、口座からの振り込みのみ可能となっていますのでご注意ください。ご利用の際は、「通帳とお届け印」または「キャッシュカード」が必要となります。
- (2) ゆうちょ銀行から振り込む場合は、募集要項に添付されている本校所定の振込依頼書は使用できません。窓口で、ゆうちょ銀行専用の振込依頼書を受け取り、必要事項を記入して窓口から振り込みください。振り込みの際は、振り込み先を確認しますので、本校所定の振込依頼書も持参ください。なお、振り込みにかかる手数料はご負担ください。
- (3) 振り込み後は、窓口で「振替払出請求書預金口座振替による振込受付書」（以下、「振込受付書」という）を受領してください。また、出願の際にはこの振込受付書を出願書類に同封してください。なお、振込受付書はコピーを取り、コピーは大切に保管してください。
- (4) 検定料の振り込みは、ゆうちょ銀行ＡＴＭ（現金自動預払機）からは行わないでください。

○ゆうちょ銀行専用の振込依頼書（サンプル）

8000034		振込依頼書(兼振替払出請求書)[電信扱い]		[ゆうちょ銀行]以外の銀行宛						
※太枠からはみ出ないようにボールペンではっきりとご記入ください。 ※□印欄は、該当の項目にレ印をつけてください。										
△ 組合口座の場合は進帳に記載のある方のみご記入ください。										
ご依頼日		年 月 日		※料金は、振込金とは別に、払出口座の預り金からいただきます。 ※お受取人負担のお取扱いはできません。						
お受取人	金融機関名	<input type="checkbox"/> 銀行 <input type="checkbox"/> 信金 <input type="checkbox"/> 信組 <input type="checkbox"/> 農協 <input type="checkbox"/> その他		支店名	支店					
	預金種目	<input type="checkbox"/> 普通(国庫) <input type="checkbox"/> 2当座 <input type="checkbox"/> 4貯蓄 <input type="checkbox"/> 9その他 ()	口座番号	金額						
	フリガナ									
	おなまえ	<table border="1"> <tr> <td>振込金額</td> <td>5万円未満</td> <td>5万円以上</td> </tr> <tr> <td>料金(消費税込)</td> <td>648円</td> <td>864円</td> </tr> </table>				振込金額	5万円未満	5万円以上	料金(消費税込)	648円
振込金額	5万円未満	5万円以上								
料金(消費税込)	648円	864円								
※ 金額の欄部に「レ」を付て記入ください。										
おところ										
フリガナ										
おなまえ										
ご依頼人	日中ご連絡先電話番号	郵便番号 (-)		通知番号						
	注 お受取人に通知を希望される番号(最大10桁)がある場合(お名前の前に数字を入れる場合は)に左詰めでご記入ください。									
	払出口座番号	記号 A 番 号 (左詰めでご記入ください)		お困り印						
	払出口座名義人(代理人)	おところ		おなまえ						
郵便番号 (-) ※口座名義人がご依頼人の場合、ご記入は不要です。										
科目	取引年月日	取引種類	取引額	受払調整						
	取引店番号	振込内容		代理店番号						
請求理由		お受取人おなまえ								
払出口座番号		払出口座権限者								
		ご住所								
振込金額		円	振込利息	円	(消費税等を含む。)					
合計金額		円	払出調整番号							
<郵便局使用欄>										
〒	郵便局	郵便種別	郵便番号	郵便物	郵便物					
郵便局	郵便種別	郵便番号	郵便物	郵便物	郵便物					
郵便局	郵便種別	郵便番号	郵便物	郵便物	郵便物					

左下「ご依頼人」の「お名前」欄に記入の際は、受検者氏名の前に「HE」を付けてください。

福島高専には、「お客様控え」
を提出してください。

編 入 学 案 内

1 高等専門学校並びに本校の特色

高等専門学校は、優れた専門技術者の養成を目的として、昭和37年に創設された高等教育機関です。

高専制度の特色は、5年間の一貫教育により、優れた人材を育成する完成教育にあり、卒業生には「準学士」の称号が与えられます。また、卒業後、更に高度な専門分野の勉学を志す人のためには高専専攻科への進学または大学3年次への編入学により、「学士」となる道もあります。

本校では、実践的な技術の修得を重視し、基礎となる一般科目と実験・実習を含めた専門科目を効率よく組み合わせることにより教育効果をあげています。加えて特別活動やクラブ活動にも力を入れ、豊かな教養と人間力の育成をめざしています。

2 本校の教育理念

本校の教育理念は次のとおりです。

- 広く豊かな教養と人間力の育成
- 科学技術の基礎的素養と創造性及び実践性の育成
- 固有才能の展開と国際的な視野及びコミュニケーション能力の育成

3 本校の学習・教育目標

本校では以下に示す学習・教育目標を設定しています。

- (A) 地球的視野から人や社会や環境に配慮し、持続可能な社会の発展に貢献できる能力を養うために、倫理・教養を身につける。
- (B) 工学およびビジネスの幅広い基礎知識の上に、融合・複合的な専門知識を修得し、知識創造の時代に柔軟に対応できる能力を身につける。
- (C) 工学系科目－ビジネス系科目の協働（シナジー）効果により、複眼的な視野を持って自ら工夫して新しい産業技術を創造できる能力を身につける。
- (D) イノベーションに即応するために、情報収集や自己学習を通して常に自己を啓発し、問題解決のみならず課題探究する能力を身につける。
- (E) モノづくりやシステムデザイン能力を養うことにより、創造的实践力を身につける。
- (F) 情報技術を活用して、グローバルなコミュニケーション能力およびプレゼンテーション能力を身につける。

4 養成する人材像

(1) 工学系学科

- ① 十分な基礎学力の上に専門知識を修得し、知識創造の時代に柔軟に対応できる技術者
- ② モノづくりと環境保全の調和に配慮できる技術者
- ③ 外国語能力を備え、ビジネス系の知識も獲得した実践的技術者

(2) ビジネス系学科

- ① 管理能力を持ったビジネス系職業人
- ② 国際社会に対応したビジネスコミュニケーション能力を持った職業人
- ③ 情報技術を備え、工学的知識も獲得した実践的職業人

〈準学士課程（本科）の各学科で養成する人材像〉

【機械工学科】

機械工業のみならず一般産業を含めた広い分野において科学技術の進展に対処できる機械技術者の育成

【電気工学科】

電気・電子・情報技術を中心として産業界のさまざまな分野で活躍できる技術者の育成

【物質工学科】

時代のニーズに即した種々の機能性材料を開発、生産する化学、医薬品、食品工業をはじめ、機械、電気、電子工業などの素材技術者の育成

【建設環境工学科】

建設技術の基礎の上に、自然環境に配慮しながら持続可能な開発や社会基盤施設の建設に対応できるシビルエンジニアの育成

【コミュニケーション情報学科】

「ビジネス」、「英語」、「情報」に重点を置いたコミュニケーション科学に関する教育・研究により、ビジネス社会の現場で活躍できる人材の育成

5 卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力

準学士課程

- (1) 豊かな教養と周囲に配慮できる人間性
- (2) 専門分野の基礎知識とそれらの総合的応用能力
- (3) 自ら工夫し、広い視野から新しい発想ができる能力
- (4) 自己を啓発し、課題を分析して解決する能力
- (5) モノづくりやデザインの実践力
- (6) 基礎的なコミュニケーション能力と情報技術を活用したプレゼンテーション能力

6 学 科 紹 介

機 械 工 学 科

本学科では、機械工業をはじめ、一般産業を含めた広い分野において、研究開発・設計・生産管理・製造などの仕事に携わり、科学技術の進歩に寄与し、即応できる機械技術者の育成をめざしています。そのため、機械工学および関連工学の基礎的知識と技術の修得に努め、広い視野のもとで問題を解決できる能力を養います。併せて、実験・実習・セミナー・卒業研究などのグループ学習を通じて創造的知見と行動力、責任感、協調性および指導力を培います。

電 気 工 学 科

本学科では、最近の科学技術のめざましい進展に対応し、電気のみならず産業界のさまざまな分野で活躍できる実践的な電気・電子・情報技術者の育成を目指しており、それに沿った専門カリキュラムを用意しています。まず電力・電子・情報各分野の基礎知識を修得し、その後授業や実験およびセミナーを通して専門知識、技術、技能を身につけます。5年次の卒業研究では各指導教員の下で個別の課題研究に取り組みながら、自主的な判断力や問題解決能力並びに創造性や協調性などを養います。

卒業後は電力・電子・情報系の各会社、また機械、化学、建設や地方公共団体等の各職種での活躍が期待されます。

物 質 工 学 科

本学科は、化学を基礎から工学的な展開までを学べるようにカリキュラムを組み、皆さんを待っています。化学は、食品や衣料という生活品から自動車、エネルギーなど様々な分野のモノづくりを支える重要な学問であるため、卒業生の進路也多岐に渡っています。皆さんが編入する4年生は専門科目を学ぶ学年になります。グループで実験に取り組んでレポートを作成したり、工学セミナーで専門的な研究に触れ、興味ある分野で卒業研究に取り組むことで、問題を発見して解決する能力やコミュニケーション能力を高めて卒業できるように指導しています。

建 設 環 境 工 学 科

本学科は、従来の土木工学の基礎の上に環境関連の科目を大幅に取り入れ、環境に配慮した社会基盤施設の整備ができる技術者の育成をめざしています。そのため、各種土木構造物を計画し、安全かつ経済的に設計するための応用力学などと、自然環境に関する正確な知識を学ぶための環境関連科目を柱として、実験、実習、設計および卒業研究を通して応用能力を養成するカリキュラムになっています。卒業後は、官公庁、独立行政法人、建設コンサルタント、建設会社などが主な活躍の場となり、範囲が広いだけに自分の適性に合った進路を選ぶことができます。

コミュニケーション情報学科

本学科は、「ビジネス」、「英語」、「情報」に重点を置いたコミュニケーション科学に関する教育・研究により、ビジネス社会の現場で活躍できる人材を育成する学科です。

教育課程では、経営、会計、生産管理、経済等の科目を開設しています。また、情報、コミュニケーションを中心とした社会科学、そして国際感覚、自己表現能力を養う科目を用意しています。

将来は、専攻科および大学等への進学，あるいは官公庁・民間企業への就職など自己の適性に合った進路を選択することが可能です。

7 修 業 年 限

第4，第5学年の2ヶ年

8 教 育 課 程

授業科目には履修単位科目と学修単位科目（単位数に*のついているもの）があります。履修単位科目は，30単位時間（1単位時間は標準50分）の履修をもって1単位とします。

学修単位科目は45時間（1単位時間は標準50分）の学修で1単位としますが，学校での授業は15時間から45時間の範囲で行います。その範囲外については，自学自習で対応します。

一般科目（機械工学科，電気工学科，物質工学科，建設環境工学科共通）

授 業 科 目			学年配当単位数		備 考
			4	5	
必修科目	外 国 語	英 語 IV	4*		
	人 文 社 会	技 術 者 倫 理		1	
	保 健 体 育	体 育	2		
	開 設 単 位 小 計		6	1	
選 択 科 目	外 国 語	英 語 V		2	
	国 語	日 本 語 表 現 法	1		
	人 文 社 会	経 済 学 基 礎	1		
		法 学 基 礎	1		
		産 業 経 済 史		1	
	開 設 単 位 小 計		3	3	
開 設 単 位 合 計			9	4	
修 得 可 能 単 位 数			9	4	

(注) *印は学修単位（高等専門学校設置基準第17条4に基づく単位）

一般科目（コミュニケーション情報学科）

授 業 科 目			学年配当単位数		備 考
			4	5	
必修科目	英 語	英 語 IV	4*		
	人 文 社 会	法 学	2		
		ミ ク ロ 経 済 学	2		
		技 術 者 倫 理		1	
	保 健 体 育	体 育	2		
	開 設 単 位 小 計		10	1	
選 択 科 目	英 語	英 語 特 論 II	2		
		英 語 V		2	
	国 語	日 本 語 特 論 I	1		
		文 学	1		
		日 本 語 特 論 II		1	
	人 文 社 会	産 業 経 済 史		1	
	開 設 単 位 小 計		4	4	
	開 設 単 位 合 計		14	5	
修 得 可 能 単 位 数		14	5		

(注) *印は学修単位（高等専門学校設置基準第17条4に基づく単位）

専門科目（機械工学科）

授 業 科 目		学年配当単位数		備 考
		4	5	
必修科目	設 計 製 図 II	2*		
	応 用 設 計 製 図		3*	
	創 作 演 習	3*		
	工 学 実 験	3*	3*	
	工 学 セ ミ ナ ー	2		
	卒 業 研 究		9	
	確 率 ・ 統 計	1		
	数 理 解 析 学 I	2		
	応 用 物 理 II	2		
	材 料 力 学 II	1		
	熱 力 学	2		
	水 力 学	2		
	機 械 力 学 I	1		
	環 境 工 学	1*		
	校 外 実 習	(1)		4～5年で修得
	数 理 解 析 学 II		2*	
	伝 熱 工 学		2	
	制 御 工 学		2	
	知 的 財 産 権		1	
	開 設 単 位 小 計	22 (1)	22 (1)	
選択科目	情 報 処 理 演 習	2*		
	機 械 電 気 工 学 概 論	1		
	工 業 英 語	1*		
	C A D , C A M	1*		
	メ カ ト ロ ニ ク ス	1*		
	経 営 学 概 論	1		
	技 術 科 学 フ ロ ン テ ィ ア 概 論	(2)*		集中講義
	生 産 工 学		1*	
	設 計 工 学		1*	
	計 測 工 学		1*	
	材 料 強 度 学		1*	
	塑 性 加 工 学		1*	
	精 密 工 学		1*	
	機 械 力 学 II		1*	
	流 体 力 学		1*	
	エ ネ ルギ ー 工 学		1*	
	エ ネ ルギ ー 機 械		1*	
	電 気 回 路		1*	
	電 子 回 路		1*	
	情 報 工 学 特 講		1*	集中講義
	放 射 線 管 理 学 概 論		1*	集中講義
	環 境 ・ エ ネ ルギ ー 工 学 概 論		1*	集中講義
	環 境 安 全 学 ・ 演 習	1		集中講義
	原 子 炉 事 故 総 論		1	集中講義
	防 災 通 信 工 学		1*	集中講義
	廃 炉 工 学	1		集中講義
	開 設 単 位 小 計	9 (2)	17 (2)	
専門科目	開 設 単 位 合 計	31 (3)	39 (3)	
	修 得 可 能 単 位 数	31 (3)	39 (3)	
一般科目	開 設 単 位 合 計	9	4	
	修 得 可 能 単 位 数	9	4	
合 計	開 設 単 位 合 計	40 (3)	43 (3)	
	修 得 可 能 単 位 数	40 (3)	43 (3)	

(注) *印は学修単位（高等専門学校設置基準第17条4に基づく単位）

専門科目（電気工学科）

授 業 科 目		学年配当単位数		備 考
		4	5	
必修科目	◎電気電子工学実験	3*	2*	
	○電子回路・演習	2		
	◎電気磁気学・演習	2		
	◎電気回路Ⅱ	1*		
	創作実習	2*		
	◎電気機器Ⅱ	2		
	電子回路設計	1		
	○電子工学Ⅰ	2*		
	工学セミナー	1		
	応用物理Ⅱ	2		
	数理解析学Ⅰ	2		
	確率・統計	1		
	校外実習	(1)		4～5年で修得
	卒業研究		8	
	◎制御工学		2*	
	◎電力工学		2	
	◎電力システム工学		2*	
	◎パワーエレクトロニクス		1*	
	応用計測システム		1*	
	数理解析学Ⅱ		2*	
	知的財産権		1	
	開設単位小計	21 (1)	21 (1)	
選択科目	情報工学Ⅲ・演習	2*		
	デジタル回路Ⅱ	1		
	機械工学概論	2		
	○機械電気工学概論	1		
	通信工学Ⅰ	1		
	工業英語Ⅰ	1*		
	経営学概論	1		
	技術科学フロンティア概論	(2)*		集中講義
	工業英語Ⅱ		1*	
	◎電気回路Ⅲ		1*	
	○電気電子材料工学		2*	
	○電子工学Ⅱ		1*	
	コンピュータネットワーク		1*	
	通信工学Ⅱ		1*	
	○計算機工学		2	
	○高電圧工学		1*	
	◎電気法規		1	
	環境工学		1	
	放射線管理学概論		1*	集中講義
	環境・エネルギー工学概論		1*	集中講義
	環境安全学・演習	1		集中講義
	原子炉事故総論		1	集中講義
	防災通信工学		1*	
	廃炉工学	1		集中講義
	開設単位小計	11 (2)	16 (2)	
専門科目	開設単位合計	32 (3)	37 (3)	
	修得可能単位数	32 (3)	37 (3)	
一般科目	開設単位合計	9	4	
	修得可能単位数	9	4	
合 計	開設単位合計	41 (3)	41 (3)	
	修得可能単位数	41 (3)	41 (3)	

(注) ◎印は第2種電気主任技術者資格取得のための必修得科目、○印は関係科目

*印は学修単位（高等専門学校設置基準第17条4に基づく単位）

専門科目（物質工学科）

授 業 科 目			学年配当単位数		備 考
			4	5	
必修科目	物 質 コ ー ス	基礎材料化学実験	2*		コース別科目
		応用材料化学実験	2*		
		有機合成化学	1*		
		有機材料化学Ⅰ	1*		
		無機材料化学	2*		
		有機材料化学Ⅱ		1*	
	化学プロセス工学		1*		
	生 物 コ ー ス	基礎生物工学実験	2*		
		応用生物工学実験	2*		
		生物有機化学	1*		
		細胞遺伝子工学	1*		
		微生物工学	2*		
		生物反応工学		1*	
	酵素工学		1*		
	物質工学セミナー		1		
	校外実習			(1)	4～5年で修得
	化学システム基礎実験				2*
	卒業研究Ⅰ				9
	卒業研究Ⅱ		1		
	高分子化学Ⅰ		1		
	数理解析Ⅰ		1		
	確率・統計Ⅰ		1		
	情報処理工学Ⅰ		1		
	環境科学Ⅰ		1*		
	機器分析Ⅰ		1*		
	工業英語Ⅰ		1*		
	物化Ⅰ		2		
	化学工学Ⅰ		2		
	化学工学Ⅱ				1
生命科学Ⅰ				1*	
数理解析Ⅱ				2*	
開設単位数小計		29 (1)	19 (1)		
修得可能単位数		21 (1)	17 (1)		
選択科目	経 営 無 機 機 器	経営学概論Ⅰ	1		
		経営学概論Ⅱ	1		
		無機化学Ⅰ	1*		
		物理化学Ⅰ	1*		
		有機化学Ⅰ	1*		
		応用物理Ⅰ	2		
	情 報 技 術 科 学	有機化学Ⅱ	2		
		情報工学特講		1*	集中講義
		技術科学フロンティア概論		(2)*	集中講義
		量子化学Ⅰ			1
		計算機化学Ⅰ			1
		機械工学概論Ⅰ			1
	知 的 電 子 工 学	知的財産権Ⅰ			1
		電子工学概論Ⅰ			1
		環境工学Ⅰ			1*
		環境工学Ⅱ			1*
		工業英語Ⅱ			1*
		天然物化学Ⅰ			1*
	錯 体 物 理 化 学	錯体化学Ⅰ			1*
		錯体化学Ⅱ			1*
		化学システムⅢ			1*
		化学工学Ⅱ			2
		化学工学Ⅲ			2*
環境安全学・演習Ⅰ		1			
環 境 原 子 放 射 線 管 理 工 学	原子炉事故総論			1	
	放射線管理工学概論Ⅰ			1*	
	放射線管理工学概論Ⅱ			1*	
	環境・エネルギー工学概論Ⅰ			1*	
	環境・エネルギー工学概論Ⅱ			1*	
	防災通信Ⅰ			1*	
防 災 廃 炉 通 信 工 学	廃炉工学Ⅰ	1		集中講義	
	開設単位数小計	11 (2)	20 (2)		
専 門 科 目		開設単位数合計	40 (3)	39 (3)	
		修得可能単位数	32 (3)	37 (3)	
一 般 科 目		開設単位数合計	9	4	
		修得可能単位数	9	4	
合 計		開設単位数合計	49 (3)	43 (3)	
		修得可能単位数	41 (3)	41 (3)	

(注) *印は学修単位（高等専門学校設置基準第17条4に基づく単位）

専門科目（建設環境工学科）

授 業 科 目		学年配当単位数		備 考
		4	5	
必修科目	工 学 実 験 ・ 演 習	2*		
	確 率 ・ 統 計	1		
	数 理 解 析 学 I	2		
	測 量 学 II	2*		
	測 量 実 習 II	2*		
	情 報 処 理 II	2*		
	構 造 解 析 学	2		
	コ ン ク リ ー ト 構 造 工 学	2*		
	鋼 構 造 設 計 演 習	2*		
	地 盤 工 学 II	2*		
	水 理 学 II	2*		
	水 処 理 工 学 I	1*		
	地 域 計 画	2*		
	シ ス テ ム 工 学	1		
	施 工 法 I	1		
	校 外 実 習	(1)		4～5年で修得
	建 設 環 境 デ ザ イ ン 演 習		1*	
	卒 業 研 究		9	
	数 理 解 析 学 II		2*	
	鋼 構 造 工 学		2	
	応 用 地 盤 工 学		1	
	耐 震 設 計 法		1	
	応 用 水 理 学		1	
	環 境 工 学		1*	
	水 処 理 工 学 II		1*	
	交 通 工 学		1	
	施 工 法 II		1	
	建 設 経 営 学		1	
	開 設 単 位 小 計	26 (1)	22 (1)	
選択科目	工 学 セ ミ ナ ー	2		
	環 境 計 測 論	1*		
	経 営 学 概 論	1		
	実 務 研 修	(1)		4～5年で修得
	技 術 科 学 フ ロ ン テ ィ ア 概 論	(2)*		集中講義
	工 学 実 験 ・ 演 習		2*	
	計 算 構 造 力 学		1*	
	コ ン ク リ ー ト 構 造 設 計 演 習		1*	
	環 境 保 全 概 論		1*	
	輸 送 施 設 工 学		1*	
	建 設 環 境 法 規		1*	
	知 的 財 産 権		1	
	情 報 工 学 特 講		1*	集中講義
	機 械 工 学 概 論		1	
	電 子 工 学 概 論		1	
	環 境 安 全 学 ・ 演 習	1		集中講義
	原 子 炉 事 故 総 論		1	集中講義
	放 射 線 管 理 学 概 論		1*	集中講義
	環 境 ・ エ ネ ル ギ ー 工 学 概 論		1*	集中講義
	防 災 通 信 工 学		1*	
	廃 炉 工 学	1		集中講義
	開 設 単 位 小 計	6 (3)	15 (3)	
専門科目	開 設 単 位 合 計	32 (4)	37 (4)	
	修 得 可 能 単 位 数	32 (4)	37 (4)	
一般科目	開 設 単 位 合 計	9	4	
	修 得 可 能 単 位 数	9	4	
合 計	開 設 単 位 合 計	41 (4)	41 (4)	
	修 得 可 能 単 位 数	41 (4)	41 (4)	

(注) *印は学修単位（高等専門学校設置基準第17条4に基づく単位）

専門科目（コミュニケーション情報学科）

授 業 科 目		学年配当単位数		備 考
		4	5	
必修科目	ビジネスデザインⅠ	2		
	経営数学演習Ⅰ	1		
	マクロ経済学	2		
	プログラミング基礎	2*		
	プログラミング演習	2*		
	経営情報システム演習	1		
	財務会計	2*		
	原価計算	2*		
	経営学	2*		
	確率統計学	2		
	実務研修	(1)		4～5年で修得
	卒業研究		6	
	ビジネスデザインⅡ		2	
	確率統計学演習		2	
	情報システム		2	
	情報システム演習		2	
	開設単位小計	18 (1)	14 (1)	
選択科目	ビジネス英語入門	2		
	非言語コミュニケーション入門	2		
	異文化コミュニケーション入門	2*		
	環境科学Ⅰ	1		
	技術科学フロンティア概論	(2)		集中講義
	経営数学演習Ⅱ		2*	
	経済学演習		2*	
	ビジネス英語演習		2	
	異文化コミュニケーション演習		2*	
	会計理論		2*	
	国際経営論		2*	
	経営戦略論		2*	
	組織論		2*	
	オペレーションズリサーチ論		2*	
	知的財産権		1	
	環境安全学・演習	1		集中講義
	原子炉事故総論		1	集中講義
	情報工学特講		1*	集中講義
	放射線管理学概論		1*	
	環境・エネルギー工学概論		1*	
	防災通信工学		1*	
	廃炉工学	1		集中講義
	開設単位小計	9 (2)	24 (2)	
専門科目	開設単位合計	27 (3)	38 (3)	
	修得可能単位数	27 (3)	38 (3)	
一般科目	開設単位合計	14	5	
	修得可能単位数	14	5	
合 計	開設単位合計	41 (3)	43 (3)	
	修得可能単位数	41 (3)	43 (3)	

(注) *印は学修単位（高等専門学校設置基準第17条4に基づく単位）

9 学生生活

(1) 学生会

学生会は学校の指導のもとに、学生の自発的な活動を通して、その人間形成を助長し、本校の教育目的達成に資することを目的として、次の目標を掲げ活動しています。

- ・学生生活を豊かで楽しく規律正しいものにし、よい校風をつくる。
- ・健全な趣味や豊かな教養を養い、個性の伸長を図る。
- ・心身の健康を助長し、余暇を有効に活用する姿勢を身につける。
- ・集団の活動に積極的に参加することで、自主性を育てるとともに協調性を養う。
- ・学校生活において、自治的態度を養うとともに公民としての資質を向上させる。

(2) 部・サークル

前記目標達成のため、本校では課外活動を大いに奨励しており、学生会事務局の下に次の部・サークルがあります。熱心な活動の成果として各種大会・コンクール・コンテスト等で大いに活躍しており、毎年開催される全国高専体育大会にも大勢の選手を派遣しています。

- ・文化部……写真部、無線通信部、吹奏楽部、美術部、将棋部、茶華道部、演劇部、天文部
- ・体育部……陸上競技部、バスケットボール部、バレーボール部、ソフトテニス部、テニス部、卓球部、柔道部、剣道部、サッカー部、硬式野球部、水泳部、山岳部、空手道部、サイクリング部、ラグビー部、バドミントン部、弓道部
- ・研究部……ロボット技術研究会、エネルギー研究会、ソフトウェア研究会
- ・サークル…アンサンブル愛好会、分子生物学愛好会、化学実験サークル、ストリートダンスサークル、英語サークルほか

10 学校行事

1年間の主な学校行事は次のとおりです。

- 4月……入学式、始業式
- 5月……後援会定期総会および学級懇談会、前期中間試験
- 6月……学級委員長との懇談会
- 7月……東北地区高専体育大会、前期期末試験
- 8月……全国高専体育大会、4年生校外実習、夏季休業
- 9月……夏季休業、編入学試験、校内体育大会
- 10月……保護者個別面談会、ロボットコンテスト東北地区大会、全国高専プログラミングコンテスト
- 11月……磐陽祭、全国高専デザインコンペティション、後期中間試験
- 12月……ロボットコンテスト全国大会、冬季休業
- 1月……入学試験（推薦）、全国高専英語プレゼンテーションコンテスト
- 2月……後期期末試験、入学試験（学力）、5年生卒業研究発表会
- 3月……終業式、修了証書授与式、卒業証書授与式、学年末休業

11 学 費 等

入学年度に必要なとする経費は、およそ下記のとおりです。

区 分	金 額	備 考
入 学 料	84,600 円	
授 業 料	234,600 円	
教 科 書 代	約 40,000 円	
諸 会 費 等		
後 援 会 費	16,000 円	入会金・会費
課 外 活 動 助 成 費	15,000 円	年額
学 生 会 費	9,500 円	入会金・会費
日本スポーツ振興センター会費	1,520 円	
合 計	約 410,000 円	

12 奨学金制度

学業・人物ともにすぐれ、健康であるが、学資の支弁が困難と認められる者については、申請により日本学生支援機構（旧日本育英会）のほか戸部育英会・関育英会および市町村などからの奨学金が貸与される制度があります。さらに、東日本大震災で被災した学生を対象とした企業からの特別な奨学金もあります。

○奨学金貸与学生数（日本学生支援機構奨学金他：平成 28 年度）

学年別	項目	奨学生数	在籍者数	在籍者数に対する割合
4 年		15 人	192 人	7.8%
5 年		26 人	213 人	12.2%
合 計		41 人	405 人	10.1%

奨学金の貸与額は、日本学生支援機構奨学金を例とすると、4 年生から 5 年生に在学する者で自宅通学者は月額 45,000 円、自宅外通学者で月額 51,000 円となっています。

13 入学料および授業料免除制度

(1) 入学料免除

入学前 1 年以内に学資負担者が死亡、または風水害などの災害を受け、入学料納付が非常に困難であるなどの場合は、入学料が免除される制度があります。

(2) 授業料免除

経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業成績が優秀と認められる場合、その他やむを得ない事情があると認められる場合は、授業料全額または半額が免除される制度があります。

(3) 東日本大震災で被災した学生に対する免除制度について

このほか、平成 23 ～ 28 年度には、東日本大震災で被災し入学料や授業料の納付が困難な入学者や学生に対して入学料や授業料を免除する特別な免除制度を実施しましたが、平成 28 年度で終了しました。

(4) 免除者数 （ ）内の数字は東日本大震災で被災し、免除を受けた学生の内数

制度	項目	種 別	該当者
入学料免除 (平成 28 年度)		全 額	18(17) 人
		半 額	0 人
授業料免除 (平成 28 年度)	前 期	全 額	58 人
		半 額	27 人
	後 期	全 額	56 人
		半 額	25 人

14 学 生 寮

(1) 寮のあらまし

本校には学生寮（磐陽寮）が学校の敷地内にあり、原則として、低学年は2名1室、高学年は1～2名1室で入居します。他に食堂、浴場、自習室、談話室、寮監室、事務室などがあります。寮には、平日は日中事務室に事務職員が常駐し、夜間ならびに土・日祝日は寮監（教員）と警備員が宿直し、土・日祝日は警備員が日直として常駐して、寮生会長をはじめ寮生会役員の協力のもとに健康で規律ある共同生活が送れるよう配慮しています。詳しくは、学寮案内パンフレット「磐陽寮」をご覧ください。

寮の日課（平日）

7：00	起	床	17：30～20：00	夕	食
7：25	朝	点 呼	17：30～21：20	入	浴
7：25～8：10	朝	食	20：00～24：00	自	習
8：15	登	校	22：00	門 限 ・ 点 呼	
8：30～	H R ・ 授 業		22：00～消灯まで	静 粛 自 習	
12：00～12：50	昼	食	25：00	消	灯

(2) 寮 費

入寮者は次の経費を必要としますが、下宿代（二食付きで1ヶ月約65,000円）と比較すると非常に安いといえます。

（平成29年度）

寄 宿 料	月額	800 円（個室）・700 円（2人部屋）
食 費(三食分)	月額	約 32,000 円（3月を除く11ヶ月）
共 益 費	月額	約 15,200 円（3月を除く11ヶ月）
寮 生 会 費	年額	3,000 円

15 卒業生の進路

平成28年度の本校の卒業生は204名で、就職、進学等の内訳は、就職者94名、大学等進学者99名その他11名となっています。

(1) 進 学

本校は、5年間の一貫教育により、優れた人材を育成する完成教育を行っていますが、更に高度な専門分野の勉学を志す人や学術研究者の道に進みたい人のためには、大学や高専専攻科等への進学の道が大きく開かれています。

○ 福島高専の専攻科

現在、本校には産業技術システム工学専攻、ビジネスコミュニケーション学専攻からなる専攻科が設置されています。本専攻科を修了し、一定の要件を満たした者には大学改革支援・学位授与機構から「学士」の学位が授与されます。平成28年度の卒業生204名の内29名が本校の専攻科に進学しています。

○ 大学等進学

高専5年在学中（または卒業後）に編入学試験を受験し、合格者は翌年度4月に大学の3年次に編入学する制度で、国・公・私立大学のほとんどが高専卒業生のために門戸を開いて

います。

本校では、平成28年度の大学等進学者は99名であり、そのほとんどが国立大学に進学しています。例年、本校の大学等への進学率は卒業生全体のおよそ50%となっています。

最近3年間の主な進学先は次のとおりです。

〈主な進学先〉

北海道大学	室蘭工業大学	東北大学	秋田大学
山形大学	福島大学	茨城大学	宇都宮大学
埼玉大学	千葉大学	東京大学	東京農工大学
東京工業大学	お茶の水女子大学	新潟大学	長岡技術科学大学
信州大学	静岡大学	豊橋技術科学大学	京都工芸繊維大学
奈良女子大学	和歌山大学	九州大学	福島高専専攻科

(2) 就 職

文部科学省が平成29年2月1日現在で調査した平成28年度の就職内定率は、大学が90.6%、短期大学が88.5%、大学等（大学、短期大学、高等専門学校）全体では90.9%になっています。

本校では、平成28年度には2,345の企業から求人があり、就職希望者94名に対する求人倍率は約25倍で、例年就職内定率は、100%です。

具体的な就職先は次ページをご覧ください。

〈平成28年度卒業生の進路状況（ ）内は女子内数〉

学 科 別	卒 業 者 数	就 職					進 学 者	そ の 他 各 種 学 校 自 営 業 そ の 他
		就 職 者 合 計	求 人 状 況		就 職 状 況			
			企 業	倍 率	県 外	県 内		
機 械 工 学 科	41 (0)	19 (0)	595	31.3	14 (0)	5 (0)	18 (0)	4 (0)
電 気 工 学 科	40 (3)	22 (1)	620	28.2	19 (1)	3 (0)	17 (2)	1 (0)
物 質 工 学 科	44 (17)	22 (11)	379	17.2	16 (8)	6 (3)	21 (6)	1 (0)
建 設 環 境 工 学 科	44 (19)	17 (9)	411	24.2	15 (7)	2 (2)	25 (10)	2 (0)
コミュニケーション情報学科	35 (25)	14 (8)	340	24.3	6 (4)	8 (4)	18 (14)	3 (3)
合 計	204 (64)	94 (29)	2,345	24.9	70 (20)	24 (9)	99 (32)	11 (3)

本校卒業生の就職先（最近2年間）

【機械工学科】

- 〈平成28年度〉 キヤノン(株)、(株)クレハ、グローブライト(株)、サントリープロダクツ(株)、JFEスチール(株)、(株)千代田テクノル、東海旅客鉄道(株)、東京ガス(株)、東京電力ホールディングス(株)、東京電力パワーグリッド(株)、日東紡績(株)、日本ケミコン(株)、日本精工(株)、パナソニック環境エンジニアリング(株)、日立建機(株)、古河電池(株)、ユニ・チャームプロダクツ(株)
- 〈平成27年度〉 アルパイン(株)、アルパイン技研(株)、コスモ石油(株)、三機工業(株)、JFEスチール(株)、常磐共同火力(株)、(株)スタンレーいわき製作所、東海プラントエンジニアリング(株)、日東紡績(株)、富士重工業(株)、本田技研工業(株)、三浦工業(株)、ユニ・チャームプロダクツ(株)

【電気工学科】

- 〈平成28年度〉 アルパイン(株)、出光興産(株)、(株)FSK、(株)エヌ・ティ・ティエムイー、花王(株)、(株)関電工、キヤノン(株)、JXエネルギー(株)、ソニーコーポレートサービス(株)、ダイキン工業(株)、東京電力ホールディングス(株)、(株)日本触媒、日本電産(株)、(株)東日本計算センター、本田技研工業(株)、三菱電機ビルテクノサービス(株)、(株)ミライト、メタウォーター(株)、いわき市役所
- 〈平成27年度〉 アルパイン(株)、MGCエレクトロテクノ(株)、オカモト(株)、小名浜石油(株)、キヤノン(株)、(株)クレハ、COM電子開発(株)、(株)鷺宮製作所、(株)中央エンジニアリング、(株)デージーエスメディカル、(株)東京アールアンドデー、東京ガス(株)、日東紡績(株)、日本放送協会、(株)日立アドバンストシステムズ、日立交通テクノロジー(株)、富士通(株)

【物質工学科】

- 〈平成28年度〉 アステラスファーマテック(株)、大阪ガス(株)、花王(株)、カゴメ(株)、(株)クレハ環境、(株)ケミクレア、サントリースピリッツ(株)、サントリービール(株)、JX金属(株)、第一三共ケミカルファーマ(株)、TANAKAホールディングス(株)、東京パワーテクノロジー(株)、東燃ゼネラル石油(株)、東北電力(株)、東レ(株)、東京ガス(株)、日東電工(株)、(株)半導体エネルギー研究所、(独)国立印刷局、(国研)日本原子力研究開発機構
- 〈平成27年度〉 アステラスファーマテック(株)、アルパイン(株)、極東製薬工業(株)、(株)クレハ、(株)サンフレックス永谷園、三洋化成工業(株)、TANAKAホールディングス(株)、中外製薬工業(株)、トーアエイヨー(株)、東京ガス(株)、東洋システム(株)、(株)日本色材工業研究所、和光純薬工業(株)

【建設環境工学科】

- 〈平成28年度〉 アクアエンジニアリング(株)、(株)東コンサルタント、エヌ・ティ・ティ・インフラネット(株)、(株)鴻池組、水ing(株)、電源開発(株)、東京ガス(株)、東京電力ホールディングス(株)、東北電力(株)、日鉄住金パイプライン&エンジニアリング(株)、東日本高速道路(株)、長谷川体育施設(株)、国土交通省関東地方整備局、いわき市役所
- 〈平成27年度〉 いわき道路(株)、エヌ・ティ・ティ・インフラネット(株)、クレハ錦建設(株)、(株)ザイマックスビルマネジメント、ショーボンド建設(株)、(株)竹中土木、東海旅客鉄道(株)、東京ガス(株)、東京下水道サービス(株)、東京水道サービス(株)、東京地下鉄(株)、東京電力(株)、東北電力(株)、西尾レントール(株)、日鉄住金パイプライン&エンジニアリング(株)、日栄地質測量設計(株)、日本オーチスエレベータ(株)、(国研)日本原子力研究開発機構、長谷川体育施設(株)、(株)ふたば、(株)松下産業、横浜大一建設(株)、森トラスト・ビルマネジメント(株)、いわき市役所、東京都

【コミュニケーション情報学科】

- 〈平成28年度〉 アルパイン(株)、(株)いわきコピーセンター、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株)、キヤノン(株)、河井順行税理士事務所、新日本空調(株)、東京ガス(株)、東部液化石油(株)、(株)東日本計算センター、(株)富士通エフサス、(株)富士通バンキングソリューションズ、いわき市役所
- 〈平成27年度〉 アイ・タップ(株)、アルパイン(株)、コベルコソフトサービス(株)、サントリースピリッツ(株)、東急リゾートサービス(株)、東京ガス(株)、(株)東日本建設コンサルタント、(株)富士通バンキングソリューションズ、西日本旅客鉄道(株)、(株)ファイブフォックス、ライオン(株)

出 願 書 類

(注意)

平成 30 年度編入学生は，入学後，本校改組前の学科に入学となります。そのため，出願書類（「願書」「写真票」「受検票」「推薦書」）作成の際，各出願書類の「志望学科」欄には，次の学科名をご記入ください。

1. 機械工学科
2. 電気工学科
3. 物質工学科
4. 建設環境工学科
5. コミュニケーション情報学科

平成30年度 編入学者選抜願書

福島工業高等専門学校

受 検 番 号		※			
志 望 学 科		学科			
志 願 者	ふりがな				男・女
	氏 名				
	生年月日	平成 年 月 日生			
	ふりがな	〒 —			
	現 住 所				
	電話番号 ()	—			
	通知を受ける場所	〒 —			
者	在 籍 または 卒業 高等学校	〒 — 所在地			
		電話番号 () —			高等学校 科
保 護 者	氏 名		本人との続柄		
	現 住 所	〒 —			

裏面の「記入上の注意」を参照のこと。

※

平成30年度 編入学者選抜

写 真 票

福島工業高等専門学校

受 検 番 号		※	
志 望 学 科		学科	
ふりがな			男・女
氏名			
<div>写真貼付 タテ 4.5 cm ヨコ 3.5 cm 最近3ヶ月以内に 上半身，脱帽， 正面向きで撮影 したものを貼って ください。</div>			

※印欄は，記入しないでください。

平成30年度 編入学者選抜

受 検 票

福島工業高等専門学校

受 検 番 号		※	
志 望 学 科		学科	
ふりがな			男・女
氏名			

検査日程 平成29年9月5日(火)

受 付	8 時 15 分～ 8 時 30 分
諸 注 意	8 時 45 分～ 8 時 55 分

※志望学科により検査内容および検査等の時間が異なります。
詳しくは募集要項の 6 ～ 7 ページを参照してください。
※印欄は，記入しないでください。

受検者心得

- ① 受付終了後は、本校職員の指示に従ってください。
- ② 遅刻した場合は、本校職員に申し出て指示を受けてください。
- ③ 受検にあたっては、受検票を忘れずに携帯してください。
- ④ 携帯電話等の通信機器は、本校構内では使用を禁止しているので、持参している受検者は電源を切っておいてください。

以上

編入学者選抜願書 記入上の注意

- 1 各欄は、黒インクまたは黒ボールペンを使用し、楷書で正確に記入してください。
- 2 通知を受ける場所が、現住所と同じ場合は「同上」と記入してください。
- 3 保護者の現住所が志願者の現住所と同じ場合は、「志願者に同じ」と記入してください。
- 4 ※印欄は、記入しないでください。

受 検 番 号	※
志 望 学 科	学科

平成30年度
編 入 学 者 選 抜
推 薦 書

平成 年 月 日

福 島 工 業 高 等 専 門 学 校 長 殿

高等学校名

校 長 名 職印

下記の者は，高等専門学校教育を受けるに適していると認め推薦します。

ふりがな 氏 名 生 年 月 日	平成 年 月 日生	男・女	在 学 科 籍 名	
学科（クラス）内席次 人中 第 位				
推 薦 の 理 由				

- ① この用紙は機械工学科・電気工学科出願の者のみ提出が必要です。
- ② 「推薦の理由」欄は，できるだけ具体的に記入してください。（ワープロも可。）
- ③ ※印欄は，記入しないでください。

平成30年度 福島工業高等専門学校検定料納入書

(高専提出用)

HE		金融機関領収印
住 所	〒	1 3ヶ所押印
電話	- -	
フリガナ		
氏 名		¥16,500

※裏面にある「納入上の注意」をよく読んで手続きをしてください。

受検番号
HE

切り取らずに窓口にお出しください

平成30年度 福島工業高等専門学校検定料振込金(兼手数料)受取書

(本人保管用領収書)

HE		金融機関領収印
フリガナ		左記の金額受け取りました。 2 3ヶ所押印
氏 名		
振込先銀行	東邦銀行 いわき営業部 普通預金 2325328	
口座名	独立行政法人国立高等専門学校機構本部 出納命令役事務局長 前田俊夫	
金 額	¥ 16,500	
手 数 料	円	

切り取らずに窓口にお出しください

振 込 依 頼 書

電信扱

※取扱金融機関へお願い
必ず打電してください。
氏名の前に記号を

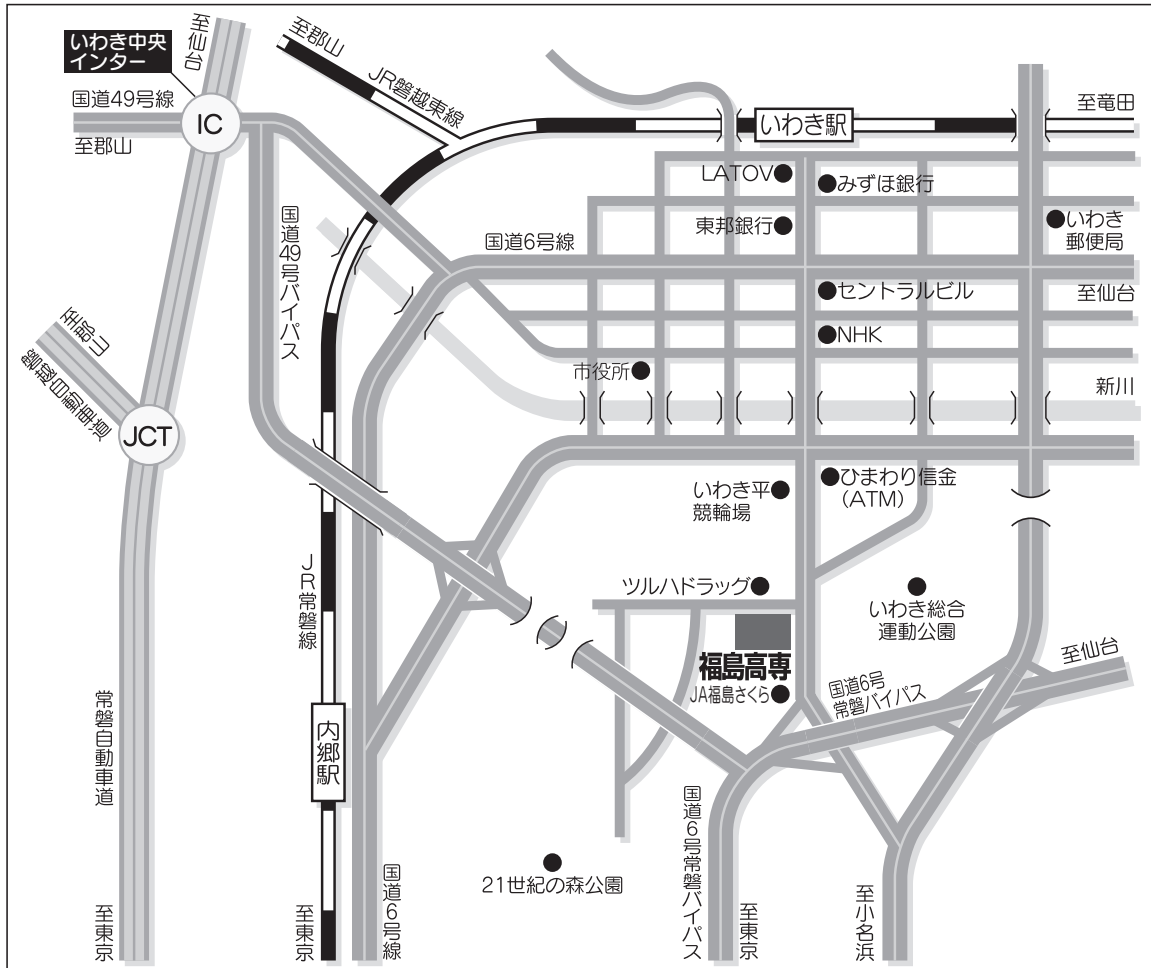
依 頼 日	年 月 日	振込指定	電 信 扱	手数料						円
受 取 人	振込先 銀 行	東邦銀行 いわき営業部	金 額							
		普通預金 2325328								
	口座名	コウセンキコウホンブ 独立行政法人国立高等専門学校機構本部 出納命令役事務局長 前田俊夫	内 訳	現 金						
ご 依 頼 人	記号	受検者氏名 (カタカナ)	当店券							
	HE		他店券							
	受検者氏名 (漢字)		◎振込手数料はご依頼人負担となります。							
	住 所	〒	収納印または振替印							
	電話	- -	3 3ヶ所押印							

納入上の注意

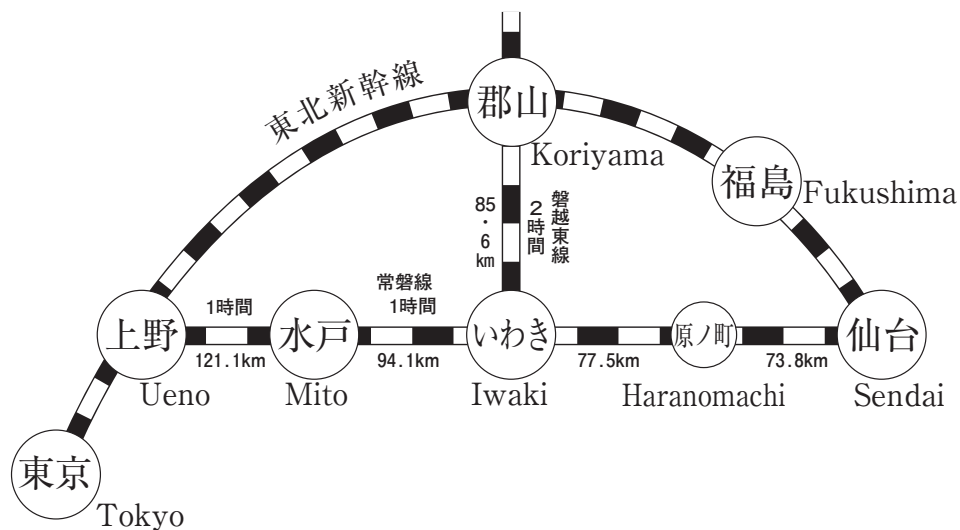
1. 太枠内をペンまたはボールペンで記入してください。
2. 金融機関（郵便局およびゆうちょ銀行を除く）の窓口へ持参し振り込んでください。ATM（現金自動預支払機）、携帯電話及びパソコン等からの振り込みはできませんので、ご注意ください。
3. 振込手数料が別途必要ですのでご負担願います。
4. 「納入書」と「振込金(兼手数料)受取書」は、金融機関領収印があることを確認の上受け取ってください。
5. 検定料を払い込んだが出願しなかった（出願書類を提出しなかった）場合、もしくは誤って二重に振り込んだ場合は検定料の返還請求ができますので、下記に申し出てください。

検定料返還に関する問合せ先
総務課財務係（電話 0246-46-0717）

案内図 Location



※JR常磐線いわき駅前から新常磐交通バス約10分
 (⑥番のりば鹿島經由小名浜行き又は明星大經由ラパークいわき行きで高専前で下車)



福島工業高等専門学校

〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾30